

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

実施主体	団体名	特定非営利活動法人チャリティーサンタ
	担当者氏名 連絡先	河津 泉
	合同提案団体 (あれば)	
岡山市の協働 課等	課名等 担当者氏名 (連絡先)	課名等 岡山市 こども福祉課 担当者 武 裕子 (086-803-1221)
調査事業	名称	経済的困窮家庭支援のための資源調査
	調査の動機 または仮説 (なぜ)	<p>(岡山市の持つ課題) 岡山市は平成 29 年に策定した「子どもの貧困対策推進方針」において 3 つの方針を掲げ、解決を目指している。 方針の一つ「困難に早期に気付き、必要な支援に、確実につなぐ」については、子どもの貧困は周囲から見えづらく、また本人やその家庭が自主的に支援を求めるケースが少ないという状況があり、必要とされている支援内容の把握、幅広いネットワークの形成、直接的に支援を届ける方法の確立や信頼関係の構築などが課題となっている。 また、同じく方針の一つに掲げられる「困難を連鎖させない」については、経済的な困窮を理由に他の子どもが経験できることが経験できないことで、人生の選択肢を狭め、貧困の連鎖を生み出す原因となることが、平成 29 年度に岡山県が実施した「子どもの生活に関する実態調査」にて指摘されている。そのため、特に乳幼児期や学童期のうちから多様な経験を提供するなど、子どもの自己肯定感の醸成に寄与する方策が求められている。</p> <p>(団体の動機と仮説) 当法人が実施した調査において、家族で大切にしているイベントとして「子どもの誕生日」に次いで「クリスマス」が 2 番目に挙げられた。(年間行事の中ではクリスマスが最重要イベントとなった。) 「クリスマスに何も準備をしていない(プレゼント購入、ケーキやツリーを準備等)」という家庭が、全体の 3.5%あり、世帯年収が低い家庭ほどその割合が高くなる。また、なんらかの準備をしたくても生活の中で精一杯であるという声も多く届いている。(『サンタ白書 2016』、NPO 法人チャリティーサンタ) また、シングルマザー100 名を対象に調査を実施した際には経済的な事情などから 3 人にひとりが「クリスマスなんてこないでほしい」と回答しており、10 家庭に 1 家庭はサンタクロースがこないということ子どもに伝えるという結果があった。 現在、チャリティーサンタが取り組んでいるのはクリスマスとなるが、剥奪指標にある「家族旅行」や「習い事」などの「当たり前の経験」の欠如が生活の様々な場面で起きていると考えられる。 クリスマス事業においては企業などの社会的資源の活用を行っており、クリ</p>
調査事業		

		<p>スマスに限らず、暮らしの様々な場面で企業等が有する資源を結びつけた課題解決の仕組みができるのではないかと考えている。</p> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困家庭のニーズの確認 ・企業の自社がもつ社会的資源を明らかにする調査 ・NPO の既存事業の連携のヒアリング <p>を実施する。</p> <p>このことによって、社会全体で「経済的困難」への理解を深め、経済的困難を抱える家庭への支援に携わる市民活動団体と賛同企業をつなげ、経済的困窮家庭の支援プログラムの拡充を図りたいと考える。</p>									
	<p>調査の対象 (なにを)</p> <p>調査の数量 (どれだけ)</p>	<p><調査1:貧困層の家庭> (対象) 児童扶養手当全額支給家庭(3歳~9歳の児童がいる家庭を対象) (件数) 1000 家庭に送付、300 家庭以上のレスポンスをめざす。</p> <p><調査2:企業等> (対象) 剥奪指標や子どもと親和性の高い事業を行う企業ならびに子どもの貧困に関心のある企業 (件数) 紙アンケート:100件 ヒアリング :3~5件</p> <p><調査3:NPO> (対象) 剥奪指標に紐づく事業を行っている団体、子ども(幼少期)に関する事業を行う団体 (件数) 今後連携が見込める 5~10 団体程度にヒアリング調査を行う。</p>									
	<p>調査の方法 (どのように)</p>	<p><調査1:貧困層の家庭> 困難を抱える家庭には、支援策が届きにくい状況があり、「クリスマス」という社会的認知度・子育て世帯の需要が高く、経済的格差が表れやすいイベント(サンタクロース訪問/団体の自主事業)の申し込み時に調査を行うことで、回答率をあげる。</p> <p><調査2:企業等> 剥奪指標に基づき、関係のある業種や子どもの貧困に関心のある団体に対して調査票を作成、送付する。 また特に連携していきたい業種、企業についてはヒアリングを行い、より具体的な内容を確認する。</p> <p><調査3:NPO> 剥奪指標に紐づく事業を行っている団体、子ども(幼少期)に関する事業を行う団体にヒアリングを行う。</p>									
<p>調査の工程 (いつ・だれが)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>工程</th> <th>担当(主・副)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>調査票の作成</td> <td>河津・福尾</td> </tr> <tr> <td>9~10月</td> <td>調査票作成</td> <td>河津・福尾</td> </tr> </tbody> </table>		月	工程	担当(主・副)	9月	調査票の作成	河津・福尾	9~10月	調査票作成	河津・福尾
月	工程	担当(主・副)									
9月	調査票の作成	河津・福尾									
9~10月	調査票作成	河津・福尾									

			対象家庭・企業への調査開始	
		11月	市内NPOを対象としたヒアリング	河津・福尾
		11～12月	ニーズ調査の入力・集計・分析 モデル事業の提案	河津・福尾
		1～2月	ニーズ調査事業の報告書作成 ならびに結果に基づく連携開始	河津・福尾
	結果の活用方法 (どうする)	対象家庭の声を参考とし、企業の提供できる資源と連携する団体支援をつなげ、プログラム提供および情報提供を行う。		
調査後の展望 (モデル事業への提案を想定している場合は事業の内容など)		経済的困難を抱える家庭への支援に携わる市民活動団体や賛同企業などを巻き込み、経済的困窮家庭の支援プログラムの拡充を図る事業を実施する。		
岡山市及びESD・市民協働推進センターに支援してほしいこと (あれば)		岡山市内で経済的困難を抱える家庭の支援に携わるNPOを対象として、支援プログラムや支援体制を検討する機会を設定してほしい。		

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	特定非営利活動法人チャリティーサンタ
-------	--------------------

(収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体	208,000 円
	合同提案団体	0 円
	合計(a)	208,000 円
事業収入	事業収入	0 円
	合計(b)	0 円
岡山市補助金申請額(c)		300,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		508,000 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	●通信運搬費	12,000 円	送付 100 * 120 円
	●人件費(296h)	296,000 円	①調査票作成 80,000 円(1000 * 80h) ②調査結果の回収と分析 80,000 円(1000 * 80h) ③家庭からの対応・フォロー 10,000 円(1000 * 10h) ④ヒアリング調査の調整と実施 60,000 円(1000 * 60h) ⑤報告書の作成 50,000 円(1000 * 50h) ⑥担当課との協議 16,000 円(1000 * 2h * 8 回(16h))
	●委託費	100,000 円	①デザイン費 ・報告書: 50,000 円 ②フォーム設計・管理設計 (エンジニア委託費) 50,000 円

	●印刷製本費	80,000 円	①チラシ兼調査票(家庭) 20,000 円 ②調査票(企業) 10,000 円 ③報告書 50,000 円
	●消耗品費	20,000 円	一式
総事業費		508,000 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。